

令和8年度 おおぶち（大淵中学校・大淵第一小学校）グランドデザイン

保護者の願い

- ・自他のよさを認め合い、自分のよさを伸ばせる子
- ・自分から挨拶のできる子

地域(CS)の願い

- ・地域を大好きな子
- ・地域の歴史や自然、文化を知り、それを大切にする子
- ・地域の人と挨拶を交わし関わり合い、成長する子

学校教育目標「自分から、自分たちへ」

目指す児童生徒像 「自ら学び、高め合う大淵の子」

大淵中学校区の児童生徒は、友達と関わり合いながら課題等に取り組むことが好きである。また、友達や地域のために何かしたいという温かい気持ちをもつ良さがある。一方で、自分から進んで挑戦したり、友達と切磋琢磨しながら自分を成長させようとしたりする気持ちに課題がある。
予測不可能といわれるこれからの時代を生き抜く力を付けるためにも、まずは「自ら学ぶ」(自分から働きかける)こと、そして、友達と関わり合いながら授業や行事に取り組み「高め合う」姿を求めていく。自分を、そして自分たちを成長させていこうと「やってみよう」と一歩を踏み出せる児童生徒の育成を目指す。

これからの社会に求められる力

- ・生きて働く知識、技能
- ・思考力、判断力、表現力
- ・学びに向かう力、人間性

富士市教育振興基本計画

- ・明日を拓く
輝く「ふじの人」づくり

Action

学びの実感と
確かな学力

人間関係形成
と社会参画

可能性の伸長
と自己決定

Plan

9年間で目指す子どもの姿

後期(第Ⅲステージ)

自分から仲間とかかわり学びを深め、自他の意見から新たな考えを構築し自分の言葉で表現できる子

中期(第Ⅱステージ)

自分から仲間とかかわり学びを深め、相手の意見を取り入れ、自分の言葉で表現できる子

前期(第Ⅰステージ)

自分から仲間とかかわり学びを深め、自分の言葉で表現できる子

後期(第Ⅲステージ)

自分と仲間の考えを尊重し、思いやりの心を大切に、人のために尽くす子

中期(第Ⅱステージ)

自分と仲間の考えを尊重し、思いやりの心をもち、人のために進んで行動できる子

前期(第Ⅰステージ)

自分の役割を理解し、思いやりの心をもち、自ら進んで行動できる子

後期(第Ⅲステージ)

心身ともに健康な体づくりに努め、仲間と共に、よりよい学校生活の実現に向け、行動できる子

中期(第Ⅱステージ)

心身ともに健康で、めあてをもち、仲間と共に最後までやり抜く子

前期(第Ⅰステージ)

基本的な生活習慣を身に付け、きまりを守ることができる子

9年間の取組

- ・小中共通した研修主題のもと、合同研修会の実施
- ・「伝え方聴き方のスキル」の段階的活用
- ・ペアやグループ活動など、関わり発表する場面を意図的に設定し、誰とでも話せる授業環境づくり
- ・授業中の児童生徒の思考を見取り、生かす授業づくり

授業が分かる…85%

仲間とかかわり、考えを広げる…85%

新たな課題を見つける…75%

- ・話し合い活動(クラス会議)を活性化させることによる自治力の育成
- ・児童生徒が企画・運営する SL(スクールラブ)集会の実施(縦割り活動)
- ・児童会生徒会が交流し、主体となって行う特別活動
- ・自分や相手のよさを見付ける活動
- ・学校行事を通した児童生徒の交流

安心して安全な学校生活を送る…90%

思いやりの気持ちで生活する…95%

自分からあいさつをする…90%

- ・よいあわれを認め合う活動の充実
- ・第Ⅱステージの児童生徒の交流(入学説明会時に中1と小6の交流)
- ・生活のルールづくりに対する意識の醸成
- ・児童生徒が主体となった望ましい生活習慣の意識化(あいさつ運動等)
- ・9年生(中3)によるタイムマネジメントの発表と、8年生(中2)による計画作成

困った時に相談ができる…85%

目標や夢をもって生活する…80%

自分には良いところがある…75%

重点目標

「受心と発心」

～心から受け止め、心を込めて伝える

学校経営目標

子供・教職員・保護者・地域、誰もが笑顔で生き生きと学び、共に高め合う学校

教職員・職場環境

- ・安心感をもって働ける職場環境の構築
- ・健康、福祉の確保
- ・適正な業務時間

保護者・地域

- ・コミュニティ・スクール(CS)導入3年目。「地域の学校、地域が学校」をめざす。
- ・大淵地区の魅力を再発見できるよう地域に出掛け、中学生としてできる取組を実践する。
- ・授業参観をはじめ、学校行事への参画していただき、学校の情報を共有する。(社会に開かれた学校)

Check

アンケート・学校運営協議会委員・PTA等

Do